

園長のひとり言

5月のひとり言～「ごめんね！ありがとう！」～

子ども達は、こども園にもようやく慣れ、しっかり遊ぶようになってきました。子ども達が遊ぶとき決まって「仲間に入れて！いいよ！」の言葉で始まります。そして喧嘩になり、泣いて、後で「ごめんね！」の言葉で仲直りする、そんな毎日を過ごしています。

金子みすゞさんの詩 「こだまでしょうか」をご紹介します。

「遊ぼう」というと「遊ぼう」という。

「ばか」というと「ばか」という。

「もう遊ばない」というと「もう遊ばない」という。

そうして、あとでさみしくなって、

「ごめんね」というと「ごめんね」という。

こだまでしょうか、いいえ、誰でも。

この詩のように、最後に「ごめんね」と言えることが大事です。「ごめんね！ありがとう！」の言える子になってほしいと願っています。